

# 自主防災組織の 取り組み事例紹介

---

危機管理室

# － 平常時の取り組み －

## ● 「大地震を想定したタイムライン(案)」の作成

- ・ タイムラインを作成し、防災訓練で参加者に配布を行った。

## ● 災害時安否確認カードの配布と安否確認訓練

- ・ 災害時の安否確認カードを作成し全会員世帯に配布。印刷したカードを自分達でラミネート加工し想定より安価で作成できた。
- ・ カードを使用した、安否確認（掲出）訓練を開催。訓練の告知は地域の一斉清掃回覧に付け足した程度であったにもかかわらず約半数の世帯が掲出、自治会開催の防災セミナー等ではなかなか参加者が集まらないが、地域の皆さんが防災に関心を持っていることが実感できた。
- ・ この訓練でマンションでの掲出の問題（ドア掲示では確認者がマンション内に入れない）や、実際の災害時の安否確認をどう進めるのか等の課題が分かった。

# － 平常時の取り組み －

## ●防災まつり・自治会館一時避難所開設訓練

- ・自治会館を避難所として開設するマニュアルを作成し、昨年も防災部にて開設訓練を行ったが、本年度は一般の会員の方にマニュアルを作成し、開設訓練を実施した。
- ・訓練日は、自治会の文化部、福祉保健衛生部とともに防災まつりを開催し、多くの会員の方が参加した。
- ・避難所開設マニュアルについても多くの意見が得られ今後改善していく。

## ●防災施設の見学

- ・埼玉県防災学習センター「そな－え」を訪問し、研修会を開催。

## ●防災備蓄倉庫内の資器材等のリスト化

- ・倉庫内の防災資器材等のリストを会員に周知をし、操作体験を企画。

# - 平常時の取り組み -

## ●災害時要援護者宅訪問、登録事項の確認と最新化

- ・数年前より要援護者宅へは自治会長、副会長、地域包括支援センター長と年1回訪問していたが、今年度は自治会防災部として訪問し登録内容・個別計画の確認・最新化を行った。
- ・まだ本当に助けを必要としている未登録の方がいるであろうと思われるため、自治会での広報活動も行っていく。
- ・また、登録要援護者のマイタイムラインを相談しつつ整理していきたい。

## ●災害時の安否確認

- ・4～5世帯ずつの班を作り、災害時にお互いの安否確認をする仕組みを整えている。
- ・避難者カードを会員家族全員に配布する。

## ●自治会LINEの活用

- ・自治会LINEの登録を促し、防災関連の発信を行っている。

# － 平常時の取り組み －

## その他

- 定期的な防災訓練の実施、地区総合防災訓練への参加
- 資器材購入、点検(動作確認等)、倉庫内および倉庫周りの清掃
- 資器材購入の資金調達のため、資源回収を実施
- 講座、研修会等の開催
- 自治会内の見回り
- 自治会役員改選の伴う防災組織図の変更、役員の周知
- シニア会や子ども会と連携し、災害時にスムーズに協力できる体制を構築
- 定期的な防災委員会の開催

## - 令和5年台風第2号に伴う大雨の際の取り組み -

### ●水害アンケートの実施

- ・後日、防災団と自治会の共同で、水害アンケートを実施。とりまとめた結果の冊子を作成し、世帯に配布した。

### ●被害情報を図面化

- ・役員を臨時招集し、確認されている危険個所を地図に落とし、会員に報告。

### ●地域企業と連携し車両の避難場所を確保

- ・近隣の店舗と協議の上、会員の車両避難の駐車場を確保した。

### ●連絡網の活用

- ・自治会連絡網により、自動車避難等の呼びかけを行った。

### ●自治会LINE等による情報配信

- ・道路の冠水箇所等を確認し、近隣住宅の自動車の移動を直接または自治会LINEで連絡。
- ・自治会LINEで、川の状況や、翌朝の駅前冠水状況等の情報共有がされた。

## - 令和5年台風第2号に伴う大雨の際の取り組み -

### その他

●土のうの配布や、床下消毒の実施に伴い、市に要望した

●自治会内の見回り

●用水路や低い場所の被害状況を確認、報告。情報の共有化

●床下浸水、床上浸水家屋の実態調査

●浮遊物の除去

●班長等への連絡による、状況確認の実施

# - 他自治体の自主防災組織の取り組み① -

事例

## 工夫しながら積極的に活動している自主防災組織 ～公園通り自主防災会(久喜市)～



### 組織概要

- 創設:平成16年
- 加入世帯数:360世帯
- 特徴:定期的な防災訓練の実施や地域と連携した防災イベントへの参加など



### 活動内容

- 1 定期的な防災訓練の実施と、地域と連携した防災イベントへの参加！**  
毎年、消防署員の指導の下に防災訓練を実施し、毎回100名近い住民が参加  
また、地域のコミュニティ協議会主催の防災フェアに毎年参加し、地域との連携を確保
- 2 地域の実情に合わせて防災資機材を更新！**  
高齢化が進む中で防災資機材を見直し、発電機を軽く1人でも取り扱えるものに更新
- 3 新型コロナウイルス感染症が広がる中でも、できる取組を実施！**  
新型コロナウイルス感染症が広がり、訓練やイベントへの参加ができなくなったが、代わりに防災計画書を作成するなど、その時に行える取組を実施



### ポイント

- これまで行っていた活動ができなくなっても、その中で行える取組を工夫して実施している



## - 他自治体の自主防災組織の取り組み② -

事例

### ウインチによるマンション高層階への給水訓練を実施！ ～新白岡グランガーデン区民会(白岡市)～



#### 組織概要

- 創設:平成8年      ○世帯数:296世帯
- 特徴:マンションの課題に対応したマニュアルを作成し訓練を実施



#### 活動内容

- 1 マンションで在宅避難することを前提にマニュアルを整備し防災備品を配布**  
マンションは倒壊しないことを前提に各家庭が家具転倒防止や食料備蓄を行い、自主防災組織がトイレと給水対策を行うことなどを指針とする防災マニュアル(第2版)を作成。携帯トイレ、給水袋配布。
- 2 防災訓練受付票を全世帯に配布し要配慮者を毎年確認**  
毎年、訓練参加者だけでなく全世帯から訓練受付票を提出いただき、家族構成や避難行動時の支援や注意が必要な人を台帳に色分けして整理。災害時の安否確認で使用。
- 3 20年以上継続して防災訓練と防災講習会を実施**  
マンネリ化を避けるため、隣接する高岩公園で消防署、市職員の協力を得て実施。ハシゴ車による救出訓練や玄関に貼るマグネットカードによる安否確認訓練などを実施。



#### ポイント

防災は、コミュニティ・人のつながりが重要。夏祭りや高齢者の集い「いきいき交流会」など日頃の行事のつながりを大事にしている。回覧板を回すときは「一声かけ運動」で顔の見える関係を作るようにしている。

# - 他自治体の自主防災組織の取り組み③ -



## 小学生も交え、近隣自主防災組織を主導する活動 ～芝富士町会自主防災隊(川口市)～



### 自主防災組織の紹介

- 創設:昭和62年    ○加入世帯数:1,760世帯
- 地域の特徴:戸建住宅と集合住宅、商業の混在地



### 活動内容

#### 1 防災活動は近隣自主防災組織と一緒に実施

近隣のマンション自主防と防災訓練や毎月の情報交換会を実施

#### 2 想定される事態に即した実践的訓練を雨天決行

大地震を想定し、煙幕避難訓練、可搬ポンプ操作訓練、飲料水作成訓練などを必ず実施

#### 3 小学生も交えた避難所生活疑似体験(宿泊訓練)の実施

小学校を拠点に、毎年、小学生を対象に、1泊2日の宿泊訓練(炊出訓練、照明設置訓練、プライベートルーム作成訓練等を子供と大人が協力し合い実施



### 活動の成果

普段から近隣の自主防災組織と一緒に子供たちも交え活動することで、顔の見える関係が広がり、防災の担い手も多くなり、共助の力が格段にアップ